

*Inspiring Confidence.  
Accelerating Progress.*



2025年度 第3四半期決算概要  
及び 通期業績予想の見直し  
(上方修正)

2026年2月13日



東京海上ホールディングス



## 業績ハイライト

Key Messages	.....	2
Executive Summary		
（3Q実績、通期予想）	.....	3
自然災害の発生状況	.....	6

## 参考資料

参考資料	.....	22
------	-------	----

## 2025年度 第3四半期決算概要

Group（修正純利益）	.....	8
Japan P&C事業（TMNF）	.....	9
Japan Life事業（AL）	.....	14
International事業	.....	15

◆資料内にて使用している略称は、以下の通りです

➢P&C	: Property & Casualty（損害保険）
➢TMNF	: 東京海上日動火災保険
➢AL	: 東京海上日動あんしん生命保険
➢PHLY	: Philadelphia
➢DFG	: Delphi Financial Group
➢TMHCC	: Tokio Marine HCC
➢TMK	: Tokio Marine Kiln
➢TMSR	: Tokio Marine Seguradora

## 順調な3Q実績

- 修正純利益（除く政策株式売却益）の3Q実績は、11月公表の通期予想（以下、11月予想）に対して、進捗率83%と順調。  
International事業における、堅調な保険引受や北米キャピタル損の減少、Japan P&C事業における、レートアップ効果の順調な発現や国内自然災害の減少が牽引
- 上記に加え、政策株式売却を前倒しで実行し（売却額は、11月予想6,600億円に対して3Q実績6,430億円）、同売却益を含めた修正純利益の進捗率も89%と順調

## 通期予想の 上方修正

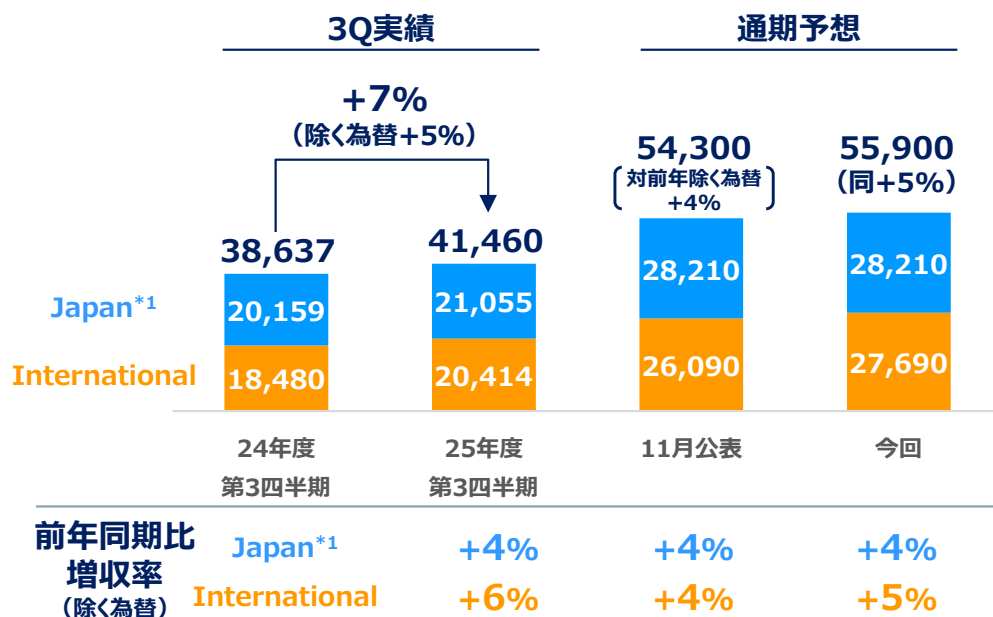
- Actualベースの通期予想（除く政策株式売却益）は、International事業における一部種目での過年度リザーブ積増しの方、国内外の自然災害の減少や、北米キャピタル損の減少、円安進行\*、インカム収益の増加等を踏まえ、11月予想対比+800億円の7,520億円とする。  
なお、含む政策株式売却益では、売却加速を踏まえ、同+1,200億円の1兆2,300億円とする
- Normalizedベースの通期予想（除く政策株式売却益）は、過年度リザーブ積増しの方、円安進行\*や、インカム収益の増加等を踏まえ、11月予想対比+100億円の6,900億円とする

\*: 今回予想について、Internationalは25.12末レート（156.56円/USD）、Japan P&C・Japan Lifeは26.1末レート（153.66円/USD）を適用。  
11月予想では、25.9末レート（148.88円/USD）を適用

# Executive Summary トップライン 3Q実績・通期予想

- 3Q実績について、正味収入保険料は、国内外でのレートアップ・引受拡大により、11月予想に対して好調に推移。生命保険料は、Internationalが11月予想を上回って好調な一方、Japan Lifeは11月予想を下回って推移
- 通期予想について、足元の基調を織り込み、正味収入保険料は対前年+5%（除く為替）に上方修正、生命保険料は同+58%（除く為替）に下方修正する

## 正味収入保険料（億円）



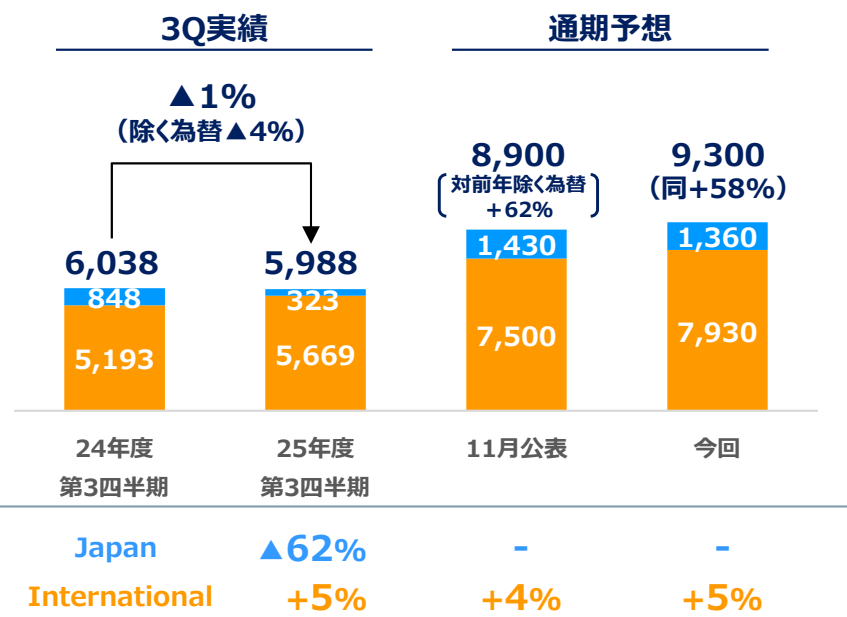
### 【Japan】

- 3Q実績は、自動車・火災保険におけるレートアップ効果が順調に発現し、11月予想に対してオンペースで推移
- 通期予想は、見直さない

### 【International】

- 3Q実績は、一部種目でソフト化の影響はあるものの、PHLYやDFG、TMSRを中心に引受が好調であり、11月予想を上回って推移
- 通期予想は、対前年+4%（11月予想）から+5%に引き上げる

## 生命保険料（億円）



### 【Japan】

- 3Q実績は、一部の貯蓄性商品の解約増等により、11月予想を下回って推移
- 通期予想は、上記を踏まえ下方修正する。  
なお、3Q時点での進捗が低いのは、25年4月にブロック出再\*2を実行したことが主因であり、想定通り

### 【International】

- 3Q実績は、就業不能保険とメディカルストップロス保険を中心に、引受が好調であり、11月予想を上回って推移
- 通期予想は、対前年+4%（11月予想）から+5%に引き上げる

\*1: 正味収入保険料には、TMNF以外のJapan P&C事業を含む

\*2: 各種リスクに対するリスクコントロール手法の多様化の一環として、一部の既契約ブロックについて共同保険式再保険による出再を2024年4月、2025年3月および4月に実施。責任準備金の取崩しやALM債券の売却等により、事業別利益への影響は限定的

# Executive Summary 修正純利益3Q実績（Actualベース）

- 【修正純利益（含む政策株式売却益）】 9,845億円（11月予想対比の進捗率89%）
- 【修正純利益（除く政策株式売却益）】 5,577億円（11月予想対比の進捗率83%）
- 11月予想に対する進捗は順調。International事業における、堅調な保険引受や北米キャピタル損の減少、Japan P&C事業における、レートアップ効果の順調な発現や国内自然災害の減少が牽引（政策株式の売却を前倒して実行したため、政策株式売却益を含めた進捗も順調）

## 【各事業の事業別利益とその評価 ※記載数字は全て税後（一部概算）】

### 【Japan P&C】1,324億円（11月予想対比の進捗率：87%）

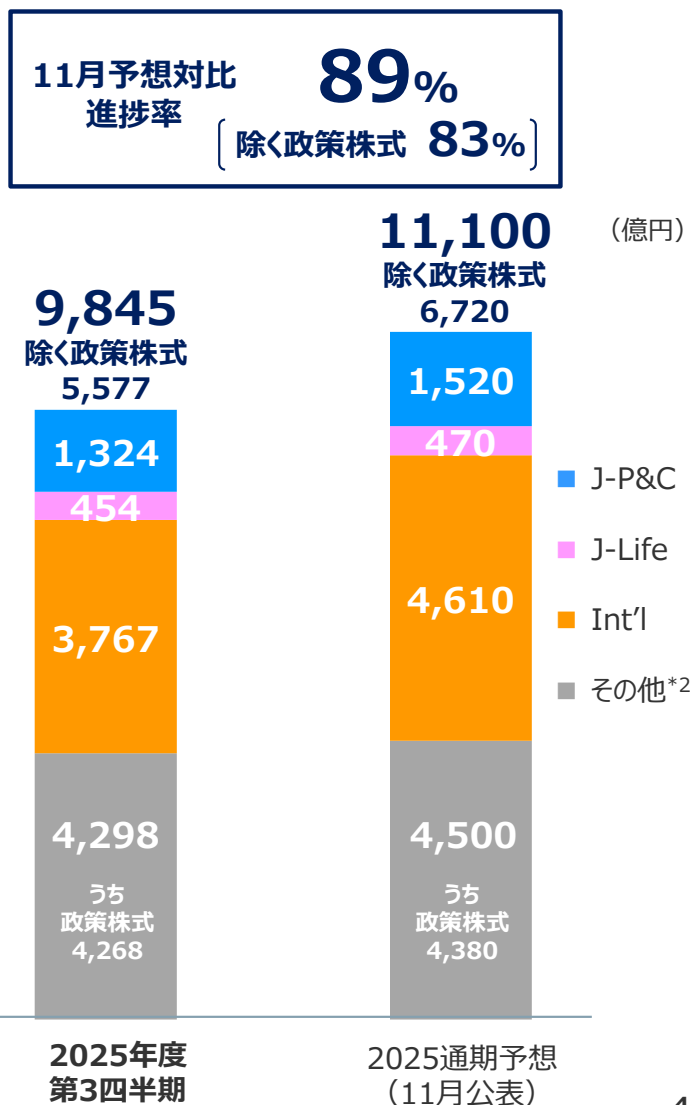
- 円安進行\*1に伴うマイナス影響（▲220億円）や自動車保険の損害率悪化の一方、自動車・火災保険におけるレートアップ効果の順調な発現や、国内自然災害が11月予想対比で少ないこと等により、11月予想をやや上回って進捗

### 【Japan Life】454億円（11月予想対比の進捗率：97%）

- 初年度負担の減少等により、11月予想を上回って推移

### 【International】3,767億円（11月予想対比の進捗率：82%）

- 一部種目でソフト化の影響はあるものの、主要拠点における保険引受は堅調。これに加え、北米キャピタル損が11月予想対比で少ないこと等により、11月予想を上回って推移

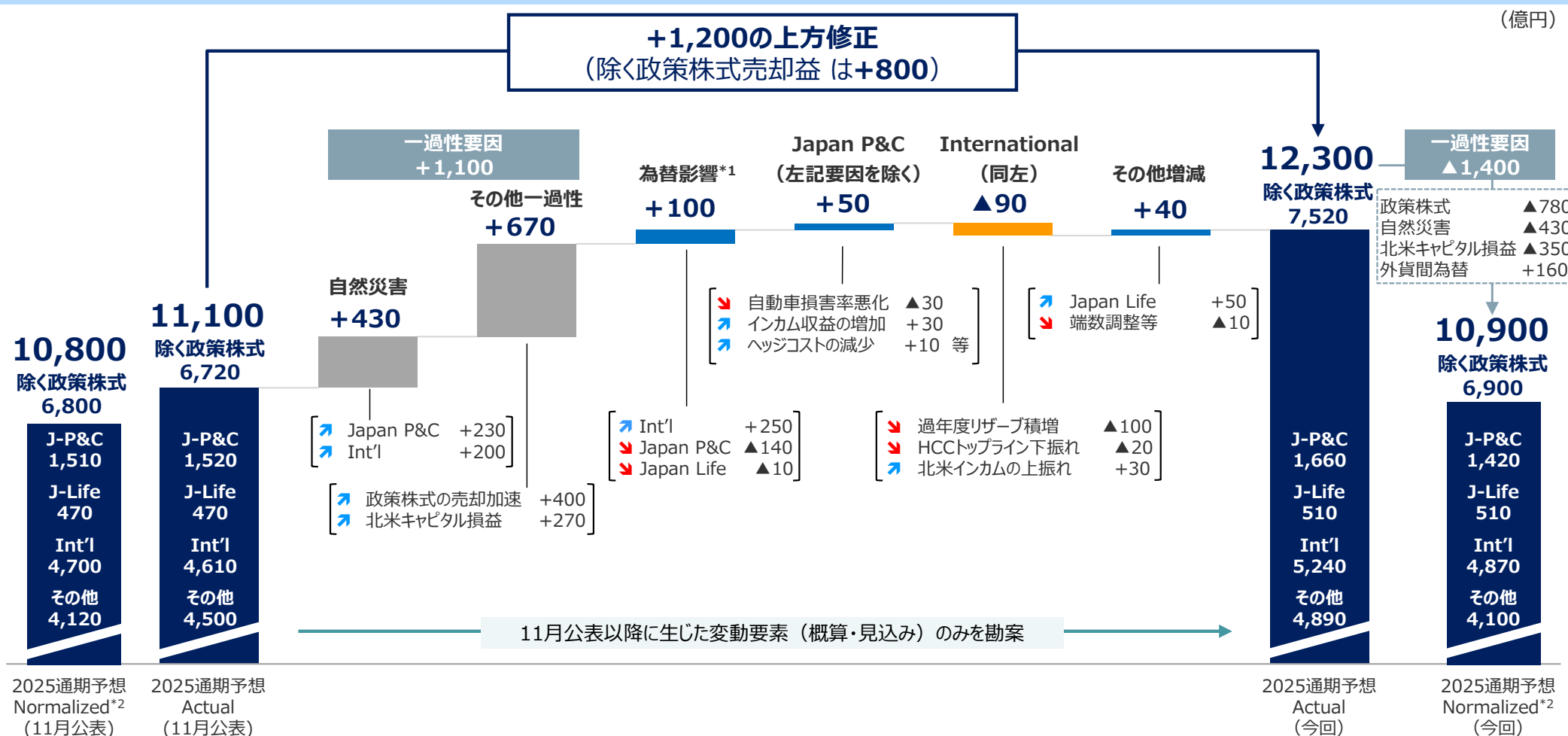


\*1: 11月予想 = 2025年9月末レート（148.88円/USD）、3Q実績 = 2025年12月末レート（156.56円/USD）

\*2: TMNF以外のJapan P&C事業やソリューション事業、政策株式売却損益など。以降同じ

# Executive Summary 通期業績予想の上方修正

- Actualベースの通期予想（除く政策株式売却益）は、International事業における一部種目での過年度リザーブ積増しの方、国内外の自然災害の減少や、北米キャピタル損の減少、円安進行<sup>\*1</sup>、インカム収益の増加等を踏まえ、11月予想対比+800億円の7,520億円とする。  
なお、含む政策株式売却益では、売却加速を踏まえ、同+1,200億円の1兆2,300億円とする
- Normalizedベース<sup>\*2</sup>の通期予想（除く政策株式売却益）は、過年度リザーブ積増しの方、円安進行<sup>\*1</sup>や、インカム収益の増加等により、11月予想対比+100億円の6,900億円とする



<sup>\*1</sup>: Internationalは25.12末レート（156.56円/USD）、Japan P&C・Japan Lifeは26.1末レート（153.66円/USD）を適用。11月予想では、25.9末レート（148.88円/USD）を適用

<sup>\*2</sup>: 自然災害を平年ベース（25.3末為替でグループ計1,490億円）に補正し、政策株式の売却益（売却額が年初計画6,000億円を超えた部分）、北米キャピタル損（25.3末為替で年初予想約650億円からの変動分）、外貨間為替の影響を控除

- 3Q実績は、前年同期比▲419億円の1,041億円（税引前）
- 通期の自然災害予算は、足元の基調を踏まえ▲520億円リリースし、1,470億円（税引前）

## ■ 自然災害に係る正味発生保険金（事業別利益ベース、億円）

税引前	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年増減*2	2025年度通期予想		増減*2 (②-①)
				①11月公表	②今回	
Japan*1	869	445	▲423	1,060	740	▲320
International	591	596	+4	930	730	▲200
合計	1,460	1,041	▲419	1,990	1,470	▲520
税引後*3						
Japan*1	626	321	▲305	760	530	▲230
International	459	461	+2	730	560	▲170
合計	1,085	782	▲303	1,490	1,090	▲400

## ■ 2025年度3Qまでの主な自然災害（一定規模以上の自然災害を記載）

【Japan*1】		【International】	
元受発生保険金（税引前）	正味発生保険金（税引前）	元受発生保険金（税引前）	正味発生保険金（税引前）
令和7年8月九州大雨	235億円	LA山火事(2025年1月)	325億円*4,5
		北米暴風雨	126億円

\*1: TMNF、日新火災、東京海上ダイレクトの合計 \*2: +は収益にマイナス、▲は収益にプラス \*3: 税引後数値は概算 \*4: 復元保険料等を含む

\*5: LA山火事口入は、International事業の25.3Q事業別利益に249億円(=325億円の税引後)を計上している。

一方、修正純利益上は、TMNFによるInternational事業からの受再分(118億円)を、3か月の決算期ズレのため、FY24に既に計上済み。

そのため、FY25修正純利益への影響は、FY24に計上済みである上記118億円を差し引いた、131億円となる



# 2025年度 第3四半期決算概要

## ＜ご参考＞

	為替レート (ドル/円)	
	24年度	25年度
12月末レート (Japan)	158.18円 (24年3月末対比6.77円安)	156.56円 (25年3月末対比7.04円安)
9月末レート (International)	142.73円 (23年12月末対比0.90円安)	148.88円 (24年12月末対比9.30円高)

\*なお、通期予想（11月公表）には、Japan・Internationalいずれも、25年9月末レート（148.88円）を使用



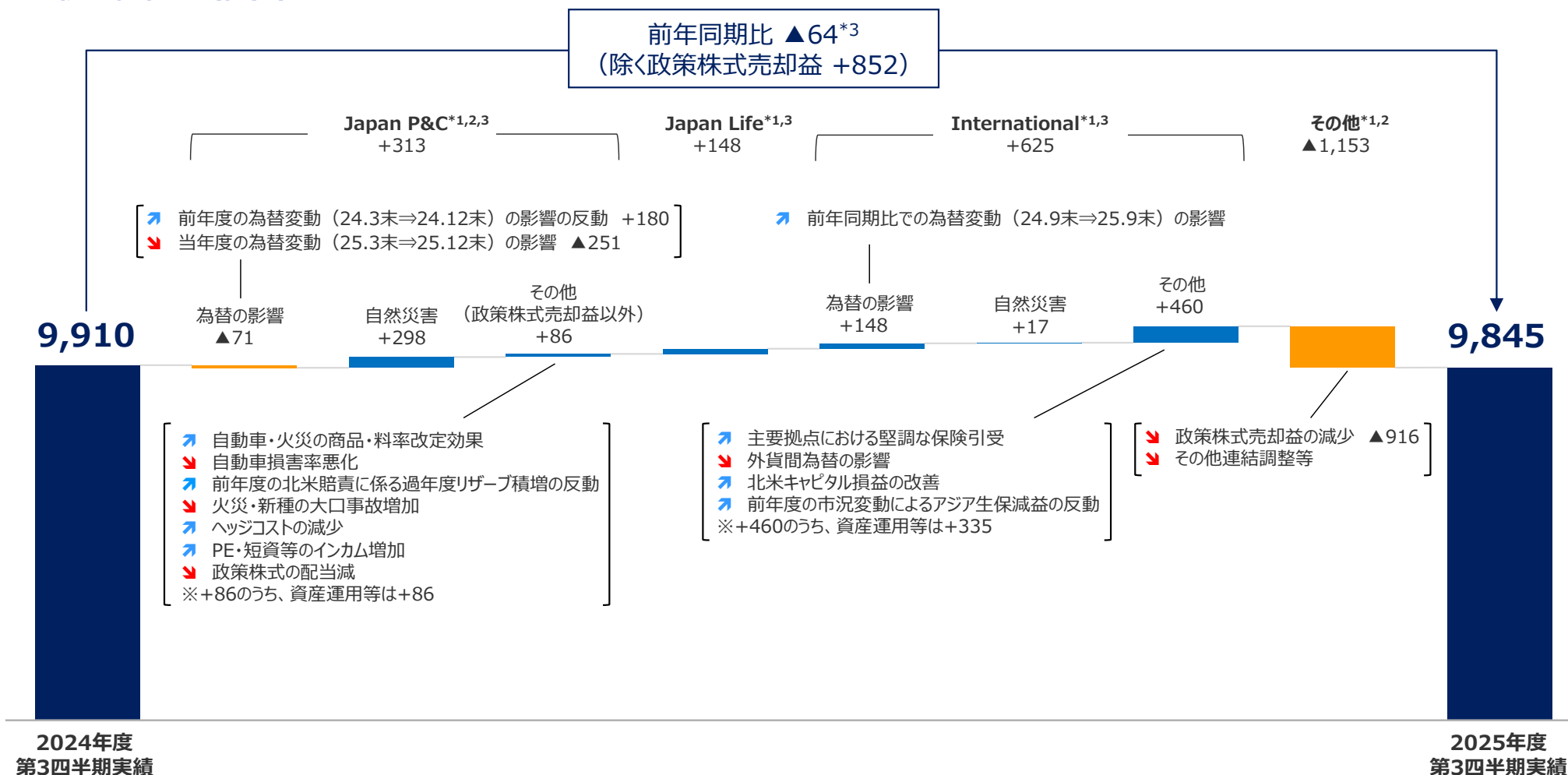
# Group : 修正純利益 3Q実績 (Actualベース) 前年増減

Group	Japan Life
Japan P&C	International



- 除く政策株式売却益では、Japan P&C事業における国内自然災害の減少に加え、International事業における堅調な保険引受や北米キャピタル損益の改善等により、前年同期比+852億円の増益
- 含む政策株式売却益では、同売却額の減少により、前年同期比▲64億円の減益

## ■ 修正純利益 (億円)



\*1: Japan P&C=TMNF、Japan Life=AL。金額は各事業の事業別利益 (「その他」はTMNF以外のJapan P&C事業やソリューション事業、政策株式売却損益、連結調整など)

\*2: 政策株式売却益は、事業別利益には含まれないが、修正純利益には含まれる

\*3: 財務会計利益の前年増減との差異は、P.27およびP.29を参照

- Actualベースの事業別利益は、円安<sup>\*1</sup>に伴う外貨建支払備金積増の影響の一方、国内自然災害が想定を下回る等、11月予想対比、やや上回って進捗（進捗率87.1%）
- 一過性の影響等を除いた事業別利益<sup>\*2</sup>は、自動車損害率の悪化を主因に、11月予想対比、やや下回って進捗（進捗率82.1%）
- 対前年では、上記損害率悪化の影響を、料率改定効果や国内自然災害の減少により打ち返し、+313億円の増益

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年増減	2025年度 通期予想 (11月公表)	進捗率
<b>保険引受利益</b>	<b>972</b>	<b>893</b>	<b>▲79</b>	<b>1,020</b>	87.6%
（保険引受利益：除く①～⑥）	<b>1,747</b>	<b>1,761</b>	13	<b>2,455</b>	71.7%
正味収入保険料（民保）	17,306	18,110	804	24,292	
既経過保険料（民保） <sup>*3</sup>	17,352	17,962	610	24,094	
発生保険金（民保） <sup>*4</sup>	▲11,182	▲11,218	▲36	▲15,033	
①国内自然災害	▲838	▲424	414	▲1,030	
②外貨建支払備金積増/積減	▲154	▲172	▲18	15	
上記以外	▲10,189	▲10,621	▲432	▲14,019	
事業費（民保）	▲5,423	▲5,599	▲176	▲7,619	
③異常危険準備金積増/積減	314	▲176	▲491	▲299	
自動車	640	354	▲285	251	
火災	▲340	▲371	▲30	▲490	
④自然災害責任準備金積増/積減	-	-	-	-	
⑤危険準備金積増/積減	▲20	▲32	▲12	▲122	
⑥初年度収支残負担 <sup>*5</sup>	▲76	▲62	14	0	
<b>資産運用等損益</b>	<b>9,640</b>	<b>7,734</b>	<b>▲1,905</b>	<b>7,374</b>	104.9%
<b>経常利益</b>	<b>10,619</b>	<b>8,655</b>	<b>▲1,964</b>	<b>8,430</b>	102.7%
<b>特別損益</b>	<b>▲85</b>	<b>▲96</b>	<b>▲10</b>	<b>▲117</b>	81.8%
<b>当期純利益</b>	<b>8,554</b>	<b>6,842</b>	<b>▲1,711</b>	<b>6,530</b>	104.8%
<b>事業別利益への組替</b>	<b>▲7,544</b>	<b>▲5,518</b>	2,025	<b>▲5,010</b>	110.1%
<b>事業別利益</b>	<b>1,010</b>	<b>1,324</b>	313	<b>1,520</b>	87.1%
<b>事業別利益（一過性の影響等控除ベース）</b>	<b>1,802</b>	<b>1,882</b> <sup>*2</sup>	80	<b>2,293</b>	82.1%

## 【通期予想（11月公表）に対する進捗】

### ― 事業別利益（Actualベース）

- ➡ 12月末為替が、11月予想対比で円安となり、外貨建支払備金積増（約140億円<sup>\*6</sup>）および金融派生商品費用（約80億円<sup>\*6</sup>）が増加した一方、国内自然災害が想定を下回り、11月予想をやや上回って進捗（進捗率87.1%）

### ― 事業別利益（一過性の影響等控除ベース<sup>\*2</sup>）

- ➡ 自動車損害率の悪化（▲約30億円<sup>\*6</sup>）等により、保険引受利益が11月予想をやや下回って進捗（進捗率82.1% vs 過去5年平均90.6%）

## 【ご参考】準備金の前年同期比

### ― 異常危険準備金積増/積減

- ➡ 自動車：残高の減少に伴い、取崩減少

### ― 初年度収支残負担

- ➡ 主に海上における前年積増の反動

\*1: 11月予想＝9月末レート（148.88円/USD）、3Q実績＝12月末レート（156.56円/USD）

\*2: Actualベースの事業別利益（1,324億円）から、国内自然災害（▲424億円）・為替（外貨建支払備金積増▲172億円、金融派生商品費用等▲175億円）の税後を控除

\*3: 自然災害責任準備金積増を除く \*4: 損害調査費を含む

\*5: 普通責任準備金積増額の内、未経過保険料の積増額を控除したもので \*6: 11月予想対比の増減額（税後）

- 自動車保険・火災保険の商品・料率改定による増収等により、対前年+4.6%と、11月予想に対して概ね想定通りに進捗

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	2025年度 通期予想 (11月公表)	前年 増減率
火災	3,406	3,665	258	7.6%	4,852	9.1%
海上	679	680	0	0.1%	885	▲2.5%
傷害	1,536	1,583	47	3.1%	2,054	3.0%
自動車	8,739	9,146	407	4.7%	12,369	5.3%
自賠責	1,421	1,454	32	2.3%	1,915	0.6%
その他新種	2,946	3,036	90	3.1%	4,132	▲1.4%*
合計	18,729	19,566	836	4.5%	26,210	4.1%
内：民保合計	17,306	18,110	804	4.6%	24,292	4.3%

## 【通期予想（11月公表）に対する進捗】

### 火災

➔ これまでの料率・商品改定効果の発現や、低収益契約対策（含むレートアップ）等により、概ね想定通りに進捗。  
3Q実績の前年増減率が、11月予想の増減率を下回っているのは、下期に、15年10月改定等に係る、大量満期更新を見込む影響（想定通り）

### 海上

➡ 円安影響等により、11月予想をやや上回って進捗

### 傷害

➔ 概ね想定通りに進捗

### 自動車

➔ 概ね想定通りに進捗（25年10月料率改定効果が下期に発現）  
（対前年）ノンフリート保険料単価105.5%、ノンフリート台数99.0%

### 自賠責

➡ 11月予想をやや上回って進捗

### その他新種

➡ 建設業における着工件数の減少等により、11月予想をやや下回って推移

\*: 11月予想における対前年▲1.4%には、前年度4Qのスポット大口契約の反動が含まれる。  
この影響を控除すれば、対前年は+約5%



- 発生保険金は、円安\*<sup>1</sup>に伴う外貨建支払備金積増（+約190億円\*<sup>2</sup>）や自動車保険の損害率悪化の一方、国内自然災害が想定を下回る等、11月予想対比で少ない

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	国内 自然 災害	2025年度 第3四半期 実績	国内 自然 災害	前年 増減	前年 増減率	2025年度 通期予想 (11月公表)	前年 増減率
火災	1,672	385	1,562	262	▲110	▲6.6%	2,444	3.4%
海上	476	0	469	0	▲7	▲1.5%	539	▲16.0%
傷害	916	-	924	-	8	0.9%	1,239	1.8%
自動車	6,157	437	6,266	144	109	1.8%	8,212	0.9%
その他 新種	1,959	15	1,995	16	36	1.9%	2,598	1.3%
合計	11,182	838	11,218	424	36	0.3%	15,033	0.7%

注）上表には損害調査費を含む

## 【通期予想（11月公表）に対する進捗】

### 火災

➡ 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加（+約40億円\*<sup>2</sup>）の一方で、国内自然災害が想定より少なかったこと等により、11月予想を下回って進捗

### 海上

➡ 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加（+約10億円\*<sup>2</sup>）に加え、大口事故の影響等により、11月予想を上回って進捗

### 傷害

➡ 概ね想定通りに進捗

### 自動車

➡ 事故頻度、保険金単価ともに、11月予想を上回って進捗

（前年同期比）	【今回】* <sup>3</sup> 25.12末時点	11月予想（通期）
保険金単価（車両・対物）	約+7%	+6%
事故頻度	約▲1%	▲1%

### その他新種

➡ 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加（+約120億円\*<sup>2</sup>）の影響により、11月予想をやや上回って進捗

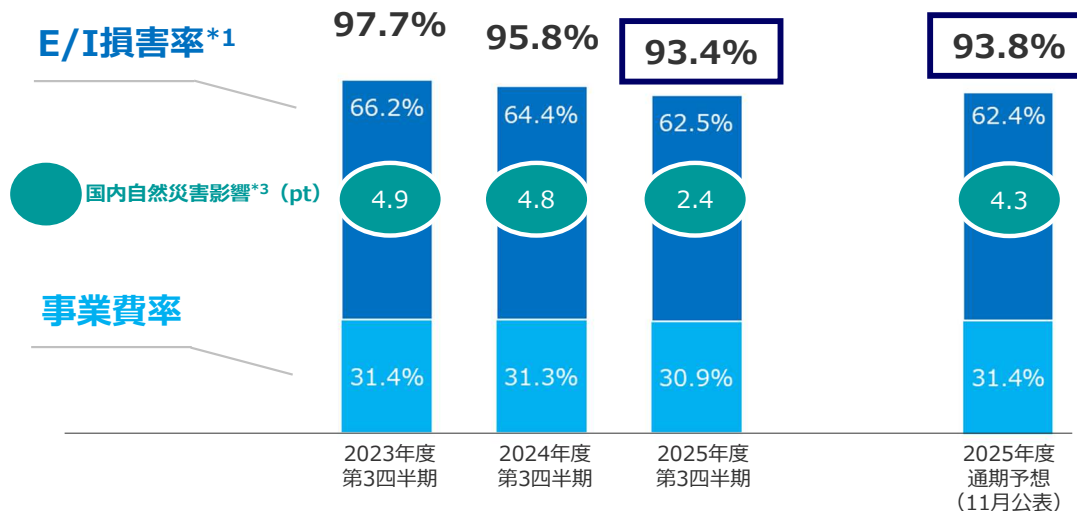
\*1: 11月予想=9月末レート（148.88円/USD）、3Q実績=12月末レート（156.56円/USD）

\*2: 11月予想対比の増減額（税前）

\*3: 既往1か年実績（25.1-25.12）

- コンバインド・レシオは、円安に伴う外貨建支払備金積増の増加や自動車の損害率悪化の一方、国内自然災害が想定を下回る等、11月予想対比、インラインで進捗
- 事業費率は、11月予想対比、インラインで進捗

## コンバインド・レシオ（民保E/Iベース）



(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年増減	2025年度 通期予想 (11月公表)
正味収入保険料	16,564	17,306	18,110	804	24,292
既経過保険料*2	16,715	17,352	17,962	610	24,094
発生保険金*1	11,073	11,182	11,218	36	15,033
事業費	5,202	5,423	5,599	176	7,619
内：社費	1,812	1,907	2,037	129	2,867
内：代理店手数料	3,389	3,515	3,562	46	4,751

\*1: 損害調査費を含む

\*2: 自然災害責任準備金積増を除く

\*3: 24年度から、国内自然災害予算および実績には「小口自然災害」も含めている。23年度実績についても、同一の定義で記載

## 【通期予想（11月公表）に対する進捗】

- E/I損害率
  - ➔ 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加や自動車の損害率悪化の一方で、国内自然災害が想定より少なかったこと等により、11月予想対比、インラインで進捗
- 事業費率
  - ➔ 社費率（11.2%）、手数料率（19.7%）ともに、11月予想対比、インラインで進捗
- コンバインド・レシオ
  - ➔ 上記要因により、11月予想対比、インラインで進捗

## E/I損害率\*1,4

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年増減	2025年度 通期予想 (11月公表)
火災	48.1%	43.3%	▲ 4.8pt	50.9%
海上	68.9%	69.0%	0.1pt	61.1%
傷害	62.0%	61.4%	▲ 0.7pt	61.0%
自動車	71.1%	69.5%	▲ 1.6pt	67.4%
その他新種	64.4%	63.4%	▲ 1.0pt	62.0%
民保合計	64.4%	62.5%	▲ 2.0pt	62.4%

\*4: 国内自然災害および為替の影響を除いた損害率は以下の通り

(火災) 24年3Q：35.9%、25年3Q：35.0%、11月予想：34.8%  
 (自動車) 24年3Q：66.0%、25年3Q：67.9%、11月予想：65.6%  
 (その他新種) 24年3Q：60.6%、25年3Q：59.2%、11月予想：61.4%

## ● 資産運用等損益は、政策株式の売却加速等により、11月予想を上回って推移

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年増減	2025年度 通期予想 (11月公表)	進捗率
資産運用等損益	9,640	7,734	▲ 1,905	7,374	104.9%
資産運用損益	10,030	8,177	▲ 1,852	7,946	102.9%
ネット利息及び配当金収入	3,533	2,773	▲ 759	2,484	111.6%
利息及び配当金収入	3,744	2,988	▲ 756	2,772	
内国株式配当金	767	584	▲ 183	595	
外国株式配当金	2,337	1,695	▲ 642	1,338	
内国債券インカム	102	117	14	161	
外国債券インカム	11	13	1	17	
内国その他インカム <sup>*1</sup>	27	21	▲ 6	12	
外国その他インカム <sup>*2</sup>	300	350	49	445	
積立保険料等運用益振替	▲ 211	▲ 214	▲ 3	▲ 287	
売却損益等計（キャピタル）	6,497	5,404	▲ 1,093	5,461	99.0%
有価証券売却損益	6,958	5,768	▲ 1,190	5,908	
有価証券評価損	▲ 10	-	10	-	
内国株式評価損	▲ 10	-	10	-	
外国証券評価損	-	-	-	-	
金融派生商品損益	▲ 764	▲ 791	▲ 27	▲ 568	
為替差損益	305	425	120	122	
その他	7	1	▲ 6	▲ 1	
その他経常収益・費用等	▲ 390	▲ 442	▲ 52	▲ 571	

### 【通期予想（11月公表）に対する進捗】

#### ー ネット利息及び配当金収入（インカム）

- ➡ 11月予想時点で未確定だった海外子会社配当金を主因に、11月予想を上回って推移

#### ー 売却損益等計（キャピタル）

- ➡ 政策株式売却額は約6,430億円、売却益は約5,760億円と、11月予想対比オーバーペースで推移  
※通期の売却額は約7,210億円（11月予想対比+610億円）、売却益は約6,480億円（同+580億円）を見込む
- ➡ ヘッジコストは概ね計画通り（3Q実績：▲約350億円）
- ➡ 11月予想時点からの円安進行に伴い、金融派生商品費用が増加しているが、一部は為替換算益の増加と相殺されている

\*1: 内国証券のうち内国株式及び内国債券以外からのインカム

\*2: 外国証券のうち外国株式及び外国債券以外からのインカム

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示



- 新契約年換算保険料は、競争激化に伴う販売下振れ等により、11月予想を下回って進捗（新商品の販売は順調）
- 事業別利益は、トップライン下振れに伴う初年度負担の減少等により、11月予想に対し上振れて推移

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	2025年度 通期予想 (11月公表)	前年 増減率
新契約年換算保険料	336	312	▲24	▲7.2%	550	21.4%
	2025年 3月末実績	2025年 12月末実績	増減	増減率	2025年度 通期予想 (11月公表)	前年 増減率
保有契約年換算保険料	7,635	7,478	▲156	▲2.1%	7,620	▲0.2%
	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	2025年度 通期予想 (11月公表)	進捗率
経常収益	8,062	10,018	1,956	24.3%	11,980	
保険料等収入	5,583	6,149	566	10.1%	8,700	
当期純利益	234	785	551	235.3%	110	714.5%
経常利益	284	1,156	872	306.5%	260	
(-) キャピタル損益	▲323	111	435	-	▲650	
(-) 臨時損益	322	642	319	99.2%	640	
基礎利益	285	403	117	41.1%	270	
事業別利益	305	454	148	48.7%	470	96.7%

## 【通期予想（11月公表）に対する進捗】

### － 新契約年換算保険料

- ➡ 競争激化に伴う販売下振れ等により、11月予想を下回って進捗（新商品の販売は順調）

### － 事業別利益

- ➡ トップライン下振れに伴う初年度負担の減少等により、11月予想に対し上振れて推移

※当期純利益は、国内金利上昇に伴う金利スワップ（固定払）の評価損益等により上振れているが、通期では債券ポートフォリオの改善等を目的とする債券入替に伴う売却損等により、概ね11月予想通りの着地を見込む

- 3Q実績は、11月予想対比で順調に進捗
- 前年同期比では、PHLYやDFG、ブラジルTMSRの好調な引受拡大により、+4.8%の増収

(単位：億円)

		2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績				2025年度 通期予想 (11月公表)	
適用為替レート (ドル/円)		24年9月末	25年9月末	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*4)	25年9月末	前年増減率 (除く為替*4)
		142.7円	148.9円				148.9円	
北米*1		16,328	17,902	1,573	9.6%	5.1%	22,900	4.5%
	PHLY	4,580	5,117	537	11.7%	7.1%	6,430	4.3%
	DFG	4,407	4,854	447	10.2%	5.6%	6,220	4.0%
	TMHCC	6,506	6,946	439	6.8%	2.4%	8,940	4.9%
	欧州*2	1,789	1,873	84	4.7%	▲0.1%	2,380	▲6.6%
	中南米	2,301	2,701	400	17.4%	9.9%	3,590	8.1%
	アジア・オセアニア	2,059	2,149	89	4.3%	1.4%	2,900	2.2%
	中東・アフリカ	342	386	44	13.0%	9.3%	530	13.0%
損保計*3		22,826	25,013	2,186	9.6%	4.9%	32,300	3.8%
生保		979	1,036	57	5.9%	2.6%	1,360	▲1.2%
合計		23,805	26,049	2,243	9.4%	4.8%	33,660	3.6%

(ご参考) Pureレシプロカルの保険料 (GWPベース)

Pure	2,699	3,284	585	21.7%	16.7%
------	-------	-------	-----	-------	-------

International事業の数値は、従来からIR資料などで開示している基準と合わせ、TMNFの在外支店や持分法適用会社、非連結会社なども合算したInternational事業トータルの数値となっている (P.17も同様)

\*1: 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州事業を含む。  
TMKの北米事業は含まない

\*2: 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含む。  
TMHCCの欧州事業は含まない

\*3: 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で  
引き受けている生命保険事業の数値を一部含む

\*4: 円換算時の為替の影響を控除  
(上記全ての注については、P.17も同様)

## 【3Q実績（1-9月）のポイント】

### － 北米（主要3社の詳細はP.19～21参照）

- ➡ PHLY： 好調なレートアップ（3Q実績：+9.5%）や新規引受の拡大等により、引続き好調
- ➡ DFG： 団体生保や就業不能保険等の引受が引続き好調
- ➡ TMHCC： 主力のメディカルストップロスは好調なものの、一部種目においてソフト化が進む中、規律あるU/Wの徹底により、全体では計画を下回って推移（レートアップ 3Q実績：▲1.1%（A&H・Surety・Creditを除く））

### － 欧州

- ➡ 一部種目でソフト化の傾向がみられるものの、新規引受は順調

### － 中南米

- ➡ 主力の自動車保険が価格競争の影響を受ける一方、企業向け種目等の好調な引受により、基調は順調

### － アジア・オセアニア

- ➡ インドにおける自動車保険の不調等により、計画をやや下回って推移



# International事業②：事業別利益

- 3Q実績は、11月予想対比で好調に推移
- 前年同期比では、外貨間為替の影響（▲約80億円）があるものの、各拠点の堅調な保険引受や、北米キャピタル損の減少（+約300億円）、円安進行（+約140億円）等により、+625億円の増益
- 通期では、11月予想対比で一部種目での過年度リザーブ積増し（▲約100億円）があったものの、円安進行（+約250億円）や北米キャピタル損の下振れ（+約270億円）、自然災害の減少（+約200億円）等により、11月予想を+約630億円\*程度上振れる見込み

\*：速報値。25.12末レートを使用

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替)	2025年度 通期予想 (11月公表)	進捗率 (除く為替)
適用為替レート (ドル/円)	24年9月末 142.7円	25年9月末 148.9円				25年9月末 148.9円	
北米	2,606	2,944	337	13.0%	8.3%	3,720	79.1%
PHLY	654	713	59	9.0%	4.5%	920	77.6%
DFG	1,051	1,324	272	25.9%	20.7%	1,510	87.7%
TMHCC	779	830	51	6.5%	2.1%	1,190	69.8%
欧州	312	359	47	15.1%	11.0%	360	99.9%
中南米	253	290	37	14.8%	7.3%	380	76.5%
アジア・オセアニア	245	245	▲0	▲0.0%	▲2.8%	260	94.2%
中東・アフリカ	10	24	13	137.8%	138.0%	40	60.0%
損保計	3,386	3,826	439	13.0%	8.4%	4,710	81.2%
生保	▲276	▲152	123	-	-	▲210	-
Pure	252	319	66	26.4%	21.2%	400	79.9%
合計	3,141	3,767	625	19.9%	14.4%	4,610	81.7%

## 【3Q実績（1-9月）のポイント】

### － 北米（主要3社の詳細はP.19～21参照）

➡ PHLY： 損害率が良好に推移しており、基調は好調

➡ DFG： 好調な保険引受やCREローンを中心としたキャピタルロスの下振れにより、計画を大きく上回って推移

➡ TMHCC：ソフト化の影響により計画をやや下回って推移しているものの、規律あるU/Wの徹底により、コンバインドレシオは88.0%と引続き良好な水準

### － 欧州

➡ 自然災害ロスが計画を下回る等、損害率が良好に推移しており、基調は好調

### － 中南米

➡ 自然災害ロスが計画を下回る等、損害率が良好に推移しており、基調は順調

### － アジア・オセアニア

➡ インドにおける損害率の悪化があったものの、タイやマレーシア等の損害率が良好に推移し、計画を上回って進捗

### － Pure

➡ トップライン成長によるフィー収入の増加等により、基調は堅調

## ■ 主要勘定科目の増減

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	24年9月末 142.7円	25年9月末 148.9円			
正味収入保険料	4,580	5,117	537	11.7%	7.1%
既経過保険料	4,296	4,742	446	10.4%	5.8%
発生保険金	2,685	2,908	223	8.3%	3.9%
自然災害	311	300	▲ 10	▲ 3.5%	▲ 7.5%
事業費	1,344	1,474	129	9.6%	5.1%
保険引受利益	266	359	93	34.9%	29.3%
資産運用等損益	547	550	3	0.6%	▲ 3.5%
インカム損益	691	711	20	3.0%	▲ 1.3%
キャピタル損益	▲ 80	▲ 61	18	-	-
事業別利益	654	713	59	9.0%	4.5%
損害率*1	62.5%	61.3%	▲ 1.2pt	-	-
事業費率*1	31.3%	31.1%	▲ 0.2pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	93.8%	92.4%	▲ 1.4pt	-	-

\*1 分母は既経過保険料

\*2 円換算時の為替の影響を控除



## ■ 主要勘定科目の増減

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	24年9月末 142.7円	25年9月末 148.9円			
正味収入保険料	4,407	4,854	447	10.2%	5.6%
既経過保険料	4,161	4,648	486	11.7%	7.1%
発生保険金	2,693	3,029	335	12.4%	7.8%
自然災害	-	-	-	-	-
事業費	1,220	1,323	102	8.4%	3.9%
保険引受利益	247	296	48	19.8%	14.8%
資産運用等損益	1,221	1,360	138	11.4%	6.8%
インカム損益	3,196	3,509	312	9.8%	5.2%
キャピタル損益	▲ 488	▲ 243	244	-	-
事業別利益	1,051	1,324	272	25.9%	20.7%
損害率*1	64.7%	65.2%	0.4pt	-	-
事業費率*1	29.3%	28.5%	▲0.9pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	94.1%	93.6%	▲0.4pt	-	-

＜インカム損益＋キャピタル損益＝資産運用等損益にならない理由について＞

- ・ 左表に記載されない項目として、その他経常損益があるため
- ・ その他経常損益の大宗は年金ビジネスにかかる調達コスト

## ■ セグメント別正味収入保険料

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	24年9月末 142.7円	25年9月末 148.9円			
損保	2,165	2,402	237	11.0%	6.4%
生保	2,242	2,452	210	9.4%	4.9%
合計	4,407	4,854	447	10.2%	5.6%

## ■ セグメント別損害率\*1

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減
損保	63.0%	67.5%	4.5pt
生保	66.2%	63.1%	▲3.2pt
合計	64.7%	65.2%	0.4pt

\*1 分母は既経過保険料

\*2 円換算時の為替の影響を控除

## ■ 主要勘定科目の増減

(単位：億円)

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	24年9月末 142.7円	25年9月末 148.9円			
正味収入保険料	6,506	6,946	439	6.8%	2.4%
既経過保険料	6,041	6,481	440	7.3%	2.9%
発生保険金	3,780	3,954	174	4.6%	0.3%
自然災害	140	117	▲ 22	▲16.2%	▲19.7%
事業費	1,569	1,747	177	11.3%	6.7%
保険引受利益	487	489	2	0.5%	▲3.7%
外貨間為替損益(ドル対ポンド・ユーロ)	▲ 32	▲ 119	▲ 86	-	-
保険引受利益(外貨間為替影響控除後)	520	609	89	17.1%	12.3%
資産運用等損益	484	546	61	12.8%	8.1%
インカム損益	517	552	34	6.7%	2.3%
キャピタル損益	▲ 6	18	25	-	-
事業別利益	779	830	51	6.5%	2.1%
損害率*1	62.6%	61.0%	▲1.6pt	-	-
事業費率*1	26.0%	27.0%	1.0pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	88.6%	88.0%	▲0.6pt	-	-

<既経過保険料-発生保険金-事業費 = 保険引受利益にならない理由について>

- ・ 外貨間為替損益の影響に加え、左表に記載されない項目として、持株会社の経費等があるため

## ■ セグメント別正味収入保険料

(単位：億円)

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	24年9月末 142.7円	25年9月末 148.9円			
北米損保	2,190	2,231	41	1.9%	▲2.3%
傷害・医療	2,038	2,277	238	11.7%	7.1%
米国外	2,274	2,432	157	6.9%	2.5%
合計	6,506	6,946	439	6.8%	2.4%

## ■ セグメント別損害率\*1

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減
北米損保	62.9%	57.5%	▲5.5pt
傷害・医療	76.3%	78.2%	1.9pt
米国外	47.1%	45.9%	▲1.2pt
合計	62.6%	61.0%	▲1.6pt

\*1 分母は既経過保険料

\*2 円換算時の為替の影響を控除



- 3Q（1-9月）のトータルリターンは、概ね11月予想通りに推移
- 通期では、CREローンにおける10-12月のキャピタルロスの下振れを織り込み、11月予想対比+\$170Mの\$3,410Mを見込む

## 北米拠点全体のトータルリターン\*1（税前・\$M）

	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	増減	2025年度 通期予想 (11月公表)	2025年度 通期予想 (今回)	増減	(参考) 2024年度 通期実績
インカム*2	2,660	2,730	+70	3,610	3,640	+30	3,560
うちローン	1,070	940	▲130	1,210	1,220	+10	1,420
キャピタル	▲410	▲240	+170	▲370	▲230	+140	▲790
うちローン	▲430	▲110	+320	▲200	▲90	+110	▲750
CECL	▲380	160	+540				▲680
減損	▲40	▲280	▲240				▲110
金利スワップ・売却損益等	0	▲110	▲110				▲10
合計	2,250	2,490	+240	3,240	3,410	+170	2,770
うちローン	640	830	+190	1,010	1,130	+120	670

## 参考：ローンの引当状況

	2024年度 実績	2025年度 3Q実績
CECL引当残高（\$M） ※カッコ内は引当率	1,260(6.4%)	1,070(5.6%)

\*1: 年金ビジネスに係る調達コスト等は含まない

\*2: 投資経費等を控除したネットインカム



- 3Q（1-9月）のトータルリターンは、概ね11月予想通りに推移
- 通期では、10-12月のキャピタルロスの下振れにより、11月予想対比+\$110Mの\$730Mを見込む（引続き市況に大きな変化はない）

## トータルリターン（グループ全体、税前・\$M）

	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	増減
インカム*1	730	510	▲220
キャピタル	▲430	40	+470
うちCECL	▲420	270	+690
うち減損	▲0	▲220	▲220
うち売却損益等	▲10	▲0	+10
合計	300	560	+260

2025年度 通期予想 (11月公表)	2025年度 通期予想 (今回)	増減
650	640	▲10
▲30	90	+120
/		
620	730	+110

(参考) 2024年度 通期実績
960
▲810
▲760
▲60
10
150

## LTV\*2別のCECL引当の状況（グループ全体、税前・\$M）

LTV*2	ローン残高*3			
	2024年度 実績	構成比	2025年度 3Q実績	構成比
≤100%	7,630	68%	5,660	62%
100-125%	1,500	13%	2,370	26%
125-150%	1,110	10%	510	6%
150%+	970	9%	630	7%
合計	11,210	100%	9,160	100%

CECL引当率	
2024年度 実績	2025年度 3Q実績
2.9%	2.5%
10.4%	10.4%
31.6%	25.6%
40.3%	52.7%
10.0%	9.2%

\*1: 投資経費等を控除したネットインカム

\*2: Loan To Value。LTV計算における物件評価額は、見積もりを含んだ数値

\*3: ワークアウトに伴う差し押さえ案件を含まない残高。なお、差し押さえ案件を含む2025年度末の想定残高は約\$10bn

## 修正純利益（グループ全体）

透明性および比較可能性の向上／株主還元との連鎖

- 市場から見た透明性や比較可能性の向上、株主還元との連鎖の確保を目的として、グループ全体では財務会計をベースとした「**修正純利益**」を使用
- 資本効率（修正ROE）や配当原資の前提となるグループ全体の利益指標

## 事業別利益

長期的な企業価値拡大

- 各事業の利益指標は、経済価値等を考慮した企業価値を的確に把握し、長期的に拡大を目指す観点から、「**事業別利益**」を用いて経営管理を行う

### <主な違い>

		修正純利益	事業別利益
損害保険	政策株式売却損益	控除しない	控除
	資本性準備金繰入額	控除	控除
その他	のれん・その他無形固定資産償却費	控除	控除

## 修正純利益・修正純資産・修正ROEの定義

$$\begin{aligned}
 \text{修正純利益}^{*1} &= \text{連結当期純利益}^{*2} + \text{異常危険準備金繰入額}^{*3} + \text{危険準備金繰入額}^{*3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{*3} + \text{自然災害責任準備金}^{*4} \text{ 繰入額}^{*3} + \text{初年度収支残}^{*5} \text{ の影響額}^{*6} \\
 &\quad - \text{ALM}^{*7} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} + \text{のれん・その他無形固定資産償却額} - \text{その他特別損益・評価性引当等} \\
 \text{修正純資産}^{*1} &= \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} + \text{自然災害責任準備金}^{*4} + \text{初年度収支残}^{*5} \\
 \text{修正ROE} &= \frac{\text{修正純利益}^{*1}}{\text{修正純資産}^{*1,8}}
 \end{aligned}$$

のれん・その他無形固定資産

\*1: 各調整額は税引き後  
 \*2: 連結財務諸表上の「親会社株主に帰属する当期純利益」  
 \*3: 戻入の場合はマイナス  
 \*4: 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料  
 \*5: 保険料から発生保険金の一部と事業費を控除した残高を、翌期以降の保険事故に備えて繰り越すもの  
 \*6: 普通責任準備金増額のうち、未経過保険料の増額を控除したもの  
 \*7: ALM = 資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外  
 \*8: 平均残高ベース  
 \*9: 海外生保事業は「その他の事業」の基準により算出（利益については本社費等を控除）

## 事業別利益の定義

### ● 損害保険事業

$$\text{事業別利益}^{*1} = \text{当期純利益} + \text{異常危険準備金等繰入額}^{*3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{*3} + \text{自然災害責任準備金}^{*4} \text{ 繰入額}^{*3} + \text{初年度収支残}^{*5} \text{ の影響額}^{*6}$$

### ● 生命保険事業<sup>\*9</sup>

$$\begin{aligned}
 \text{事業別利益}^{*1} &= \text{当期純利益} + \text{危険準備金等繰入額}^{*3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{*3} \\
 &\quad - \text{ALM}^{*7} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益・評価性引当等}
 \end{aligned}$$

### ● その他の事業

財務会計上の当期純利益

$$\begin{aligned}
 &\quad - \text{ALM}^{*7} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益・評価性引当等}
 \end{aligned}$$

## 実質純資産の定義

$$\text{実質純資産}^{*1} = \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} - \text{のれん・その他無形固定資産} - \text{株主還元予定額} + \text{生保保有契約価値} + \text{その他}$$

# 修正純利益の組替表

(単位：億円)

## 組替表<sup>\*1</sup>

(注) 符号は利益方向にプラス表示

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	2025年度通期予想			
				2024年度 実績	11月公表	今回	今回-11月
親会社株主に帰属する当期純利益（連結）	8,952	8,992	40	10,552	9,100	10,200	1,100
異常危険準備金繰入額 <sup>*2</sup>	▲ 206	+ 149	355	▲ 94	+ 240	+ 240	-
危険準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 17	+ 24	7	+ 33	+ 90	+ 90	-
価格変動準備金繰入額 <sup>*2</sup>	+ 46	+ 54	8	+ 73	+ 70	+ 70	-
自然災害責任準備金 <sup>*3</sup> 繰入額 <sup>*2</sup>	▲ 0	+ 0	0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	-
初年度収支残の影響額	+ 53	+ 43	▲10	▲ 0	+ 0	+ 0	-
ALM <sup>*4</sup> 債券・金利スワップ取引に 関する売却・評価損益	+ 93	▲ 385	▲479	+ 302	+ 330	+ 370	40
事業投資に係る株式・固定資産に 関する売却損益・評価損	+ 48	+ 35	▲13	+ 21	+ 10	+ 10	-
のれん・その他無形固定資産償却額	+ 904	+ 901	▲2	+ 1,313	+ 1,220	+ 1,280	60
その他特別損益・評価性引当等	+ 1	+ 29	27	▲ 51	+ 0	+ 0	-
修正純利益	9,910	9,845	▲64	12,150	11,100	12,300	1,200

\*1 各調整は税引き後

\*2 戻入の場合はマイナス

\*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

\*4 ALM = 資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外



# 修正純資産・修正ROE（2024年度実績、2025年度通期予想）

（単位：億円）

## ● 修正純資産\*1

	2024年度 実績	2025年度 予想 (11月)	2025年度 予想 (今回)	今回-11月
連結純資産	50,768	50,400	54,760	4,360
異常危険準備金	+7,813	+8,050	+8,050	-
危険準備金	+523	+610	+610	-
価格変動準備金	+1,084	+1,150	+1,150	-
自然災害責任準備金	+3	+0	+0	-
初年度収支残	+341	+340	+340	-
のれん・ その他無形固定資産	▲7,204	▲5,480	▲5,710	▲230
修正純資産	53,331	55,090	59,210	4,120

\*1 各調整は税引後

\*2 平残ベース

## ● 修正ROE

	2024年度 実績	2025年度 予想 (11月)	2025年度 予想 (今回)	今回-11月
連結純利益	10,552	9,100	10,200	1,100
連結純資産*2	51,267	50,590	52,760	2,170
財務会計ROE	20.6%	18.0%	19.3%	1.3pt
	2024年度 実績	2025年度 予想 (11月)	2025年度 予想 (今回)	今回-11月
修正純利益	12,150	11,100	12,300	1,200
修正純資産*2	53,572	54,210	56,270	2,060
修正ROE	22.7%	20.5%	21.9%	1.4pt

# 事業別利益の組替表

## ● Japan P&C事業\*1（うちTMNF）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	2025年度 予想 (11月公表)
当期純利益（財務会計）	8,554	6,842	▲1,711	6,530
異常危険準備金等繰入額*2	▲212	+150	362	+303
価格変動準備金繰入額*2	+34	+34	▲0	+44
自然災害責任準備金*3繰入額*2	-	-	-	-
初年度収支残の影響額	+55	+45	▲10	+0
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	+40	+5	▲35	+22
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	▲5,251	▲4,369	881	▲4,488
グループ内配当金	▲2,301	▲1,642	659	▲1,261
その他特別損益 評価性引当等	+90	+258	167	+365
事業別利益	1,010	1,324	313	1,520

\*1 各調整は税引き後

\*2 戻入の場合はマイナス

\*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

\*4 ALMとは資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

\*5 ブロック出再に係る出再損益を含む

\*6 特別損益、本社費ほか

## ● Japan Life事業\*1

（単位：億円）

	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	2025年度 予想 (11月公表)
当期純利益（財務会計）	234	785	551	110
危険準備金等繰入額*2	+2	+0	▲1	+1
価格変動準備金繰入額*2	+15	+20	4	+26
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益等*5	+52	▲391	▲444	+304
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	+0	+0	▲0	+0
その他特別損益 評価性引当等	-	+38	38	+28
事業別利益	305	454	148	470

## ● International事業\*1

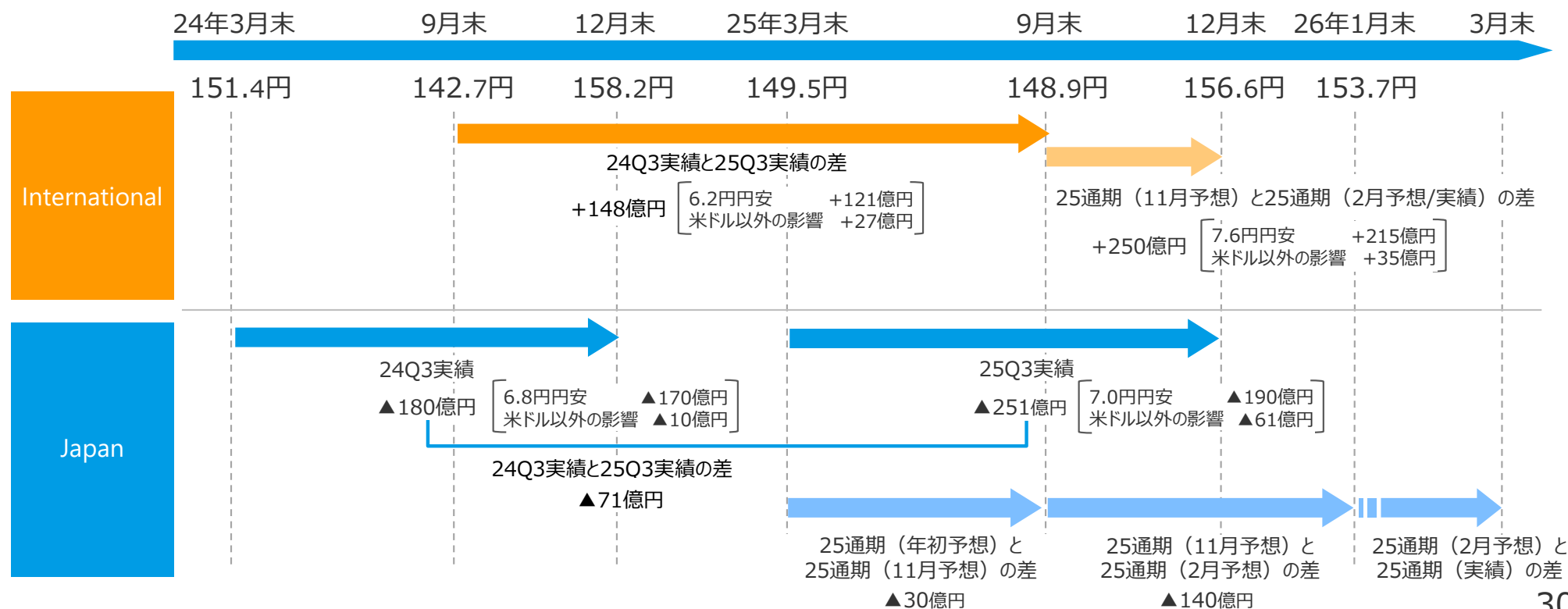
	2024年度 第3四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	前年 増減	2025年度 予想 (11月公表)
当期純利益（財務会計）	3,370	3,897	526	4,870
少数株主持分の調整	▲7	▲7	0	
対象会社の差異	▲203	▲188	15	
その他調整*6	▲17	+66	83	
事業別利益	3,141	3,767	625	4,610

## ● 1円の円安進行<sup>\*1</sup>があった場合の概算影響

財務会計上の当期純利益への影響 <sup>*2</sup>		修正純利益への影響 <sup>*2</sup>	
■ 海外子会社利益の増加：	+ 約26億円	■ 海外子会社利益の増加 <sup>*3</sup> ：	+ 約31億円
■ TMNFにおける外貨建支払備金や為替デリバティブ損益等の変動：	▲ 約27億円	■ TMNFにおける外貨建支払備金や為替デリバティブ損益等の変動：	▲ 約27億円
合 計：	▲ 約0億円	合 計：	+ 約4億円

\* 1: 各通貨の為替が米ドルと同様の比率で変動する前提   \* 2: 25年度予想への概算影響。税引後ベース   \* 3: 財務会計利益に含まれる無形固定資産およびのれんの償却費用は含まれない

## ● ご参考：修正純利益への影響額と米ドル円の適用為替レート



### < ご注意 >

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

### お問い合わせ先

東京海上ホールディングス株式会社

グローバルコミュニケーション部 IR・SRグループ

URL: [www.tokiomarinehd.com/inquiry/ir.html](http://www.tokiomarinehd.com/inquiry/ir.html)

